

施工される前に

- この施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
- 便器の使用水圧範囲は、最低必要水圧：0.07MPa（流動圧）から最高使用水圧：0.75MPa（静水圧）です。給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
温水洗浄便座は機種により、最低必要水圧が異なる場合がありますので、使用条件をご確認ください。
- 排水経路が適切であること（詰まりの有無・配管設計・通気設計、配管老朽化での配管損失なし）を事前に確認ください。
排水管の詰まりや通気が不足している場合、排水能力低下、騒音、封水切れ、他器具への影響などが生じるおそれがあります。
排水管接続の際は管を屈折させたり曲がりを多く使用することや小曲がり継ぎ手の使用は洗浄に影響を及ぼすため避けてください。
- 便器の洗浄水量は、自治体により行政上の立場から設置条件が決められている場合があります。その場合は所轄官庁の指示に従って設置してください。

施工された後に

- 不具合確認のため、必ず試運転を行ってください。
- 本施工説明書と取扱説明書は、お客様にお渡しください。
お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください

- ここでは施工に際して守って頂かないと、人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

表示と意味

- ⚠ **警告** …… 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。
- ⚠ **注意** …… 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。
- ⊘ …… してはいけない禁止の内容です。
- ❗ …… 必ず実行していただく強制の内容です。

警告

- ⊘ 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしない。
※故障や感電、火災を起こす恐れがあります。

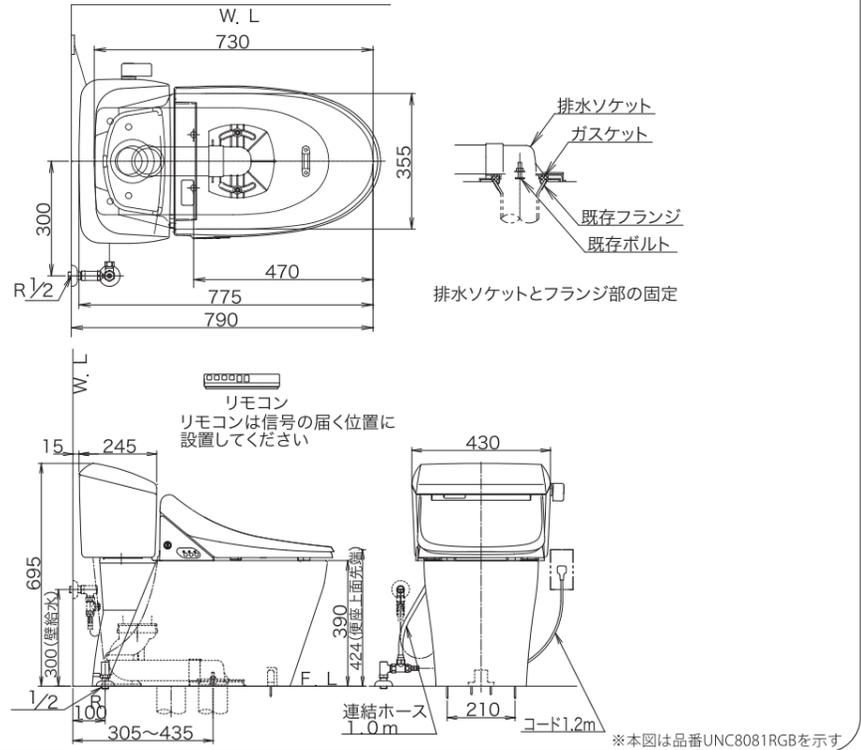
注意

- ⊘ バスルーム等の水のかかる所や湿気が多い場所では、使用しない。
※故障や感電を起こす恐れがあります。
- ⊘ 交流100V以外では使用しない。
※故障や感電を起こす恐れがあります。
- ⊘ 電源コードが破損するようなことをしない。
※コードが破損し、火災や感電を起こす恐れがあります。
- ⊘ 便器に強い力や衝撃を与えない。
※ケガや漏水を起こす恐れがあります。
- ❗ 止水栓の調整と施工後の漏水点検を、必ず行う。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。
- ❗ お客様にお渡しする前までに、凍結が予想される場合は、水抜きをする。
※破損による漏水で、家財等を濡らす恐れがあります。

お願い

- 清掃を行う際には、酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール等の溶剤や油類を使用しないでください。
※変色や変形の恐れがあります。（溶剤がつかますと跡が残ることがあります。）

施工寸法図



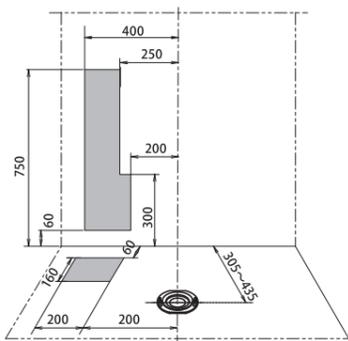
部品の確認 (梱包内容を確認してください)



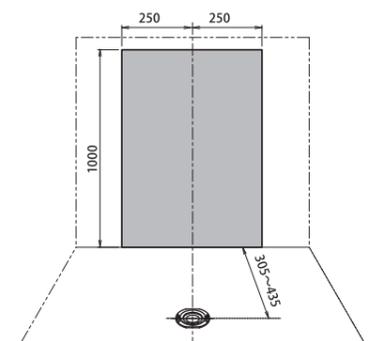
給水範囲

対応できる給水範囲は下記ようになります。

壁給水の場合・床給水の場合



壁給水で便器後方に隠れる場合



標準の給水ホース(550mm)で施工できる範囲です。
給水位置が [] 以外の場合は、延長ホース(別途手配)が必要です。延長ホース(延長300mm)品番:P19345
止水栓は、既存の止水栓、またはタンクセットに同梱の止水栓を使用します。
注意1参照

取替止水栓(別途手配)が必要です。
取替止水栓品番:NC79FLFA

注意1参照 **注意2参照**



注意1

止水栓の向きは、接続時にホースが折れないように調節してください。

注意2

隅付ロータンクからの取替えで、横側の壁に給水口がある場合や床給水の場合は、取替用止水栓での施工はできません。施工可能な位置に給水口を取り出してください。

施工手順

1 施工型紙の切り離し

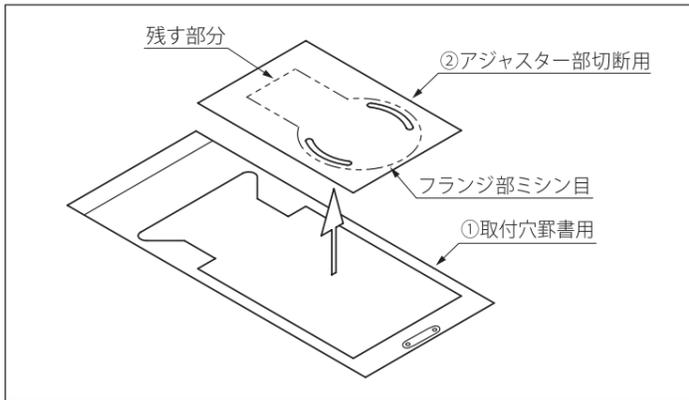
ミシン目に沿って施工型紙を切り離して①、②の2種類に分けてください。

①:取付穴罫書用

②:アジャスター部切断用

※②:アジャスター部切断用はフランジ部分のミシン目も切ってください。

※残す部分は、切らないでください。



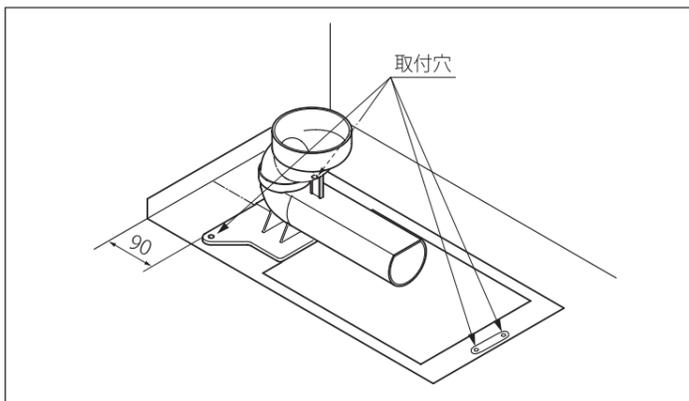
2 排水ソケットと固定用部材の位置決め

(1) ①:取付穴罫書用型紙を床に置き、壁から90mmの位置に排水アジャスター部の後端ラインを合わせて置いてください。

取替用止水栓を使用する場合は壁から125mm。

(2) 排水アジャスター部取付穴と固定用部材取付穴を罫書きます。

※罫書き終わったら施工型紙を外します。



3 アジャスター部の切断

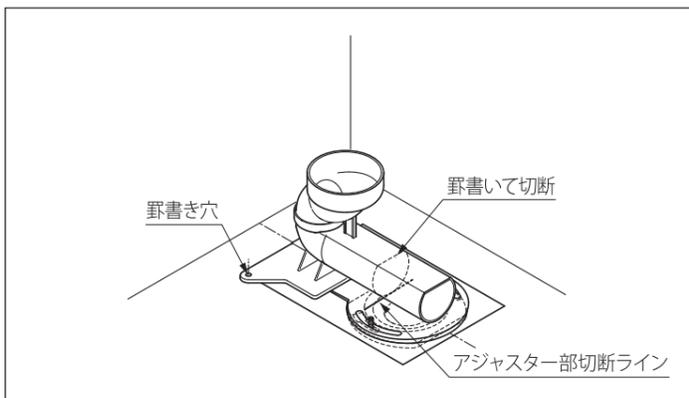
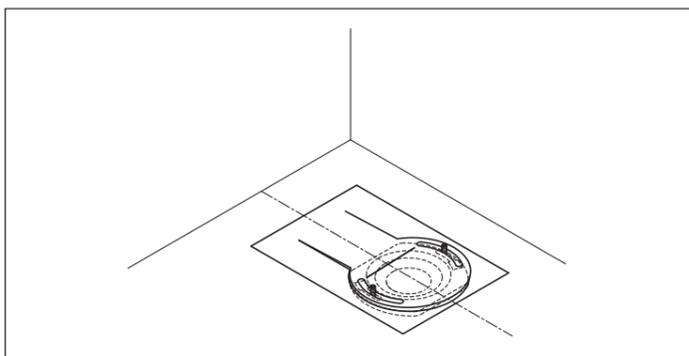
(1) ②:アジャスター部切断用型紙を既設フランジ中心に置きます。

(2) 排水アジャスター部を罫書き穴に合わせて、ずれないように置きます。

(3) アジャスター部をアジャスター部切断ラインに合わせて罫書いて切断します。 **注意3参照**

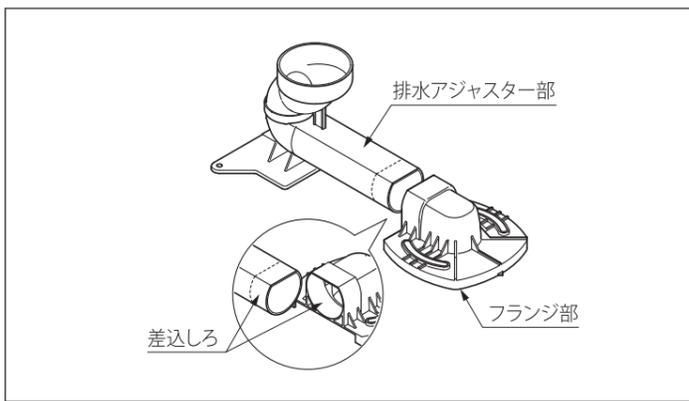
※罫書き終わったら施工型紙を外します。

※誤ってアジャスター部を長く切った場合は、便器が壁寄りに設置されるためタンクと壁が干渉して施工できない恐れがあります。 **注意4参照**



4 排水アジャスター部の接着

排水アジャスター部とフランジ部の差込しるに接着剤を塗布し、各部材を接着します。 **注意5参照**



5 排水アジャスター部・フランジ部・固定用部材の固定

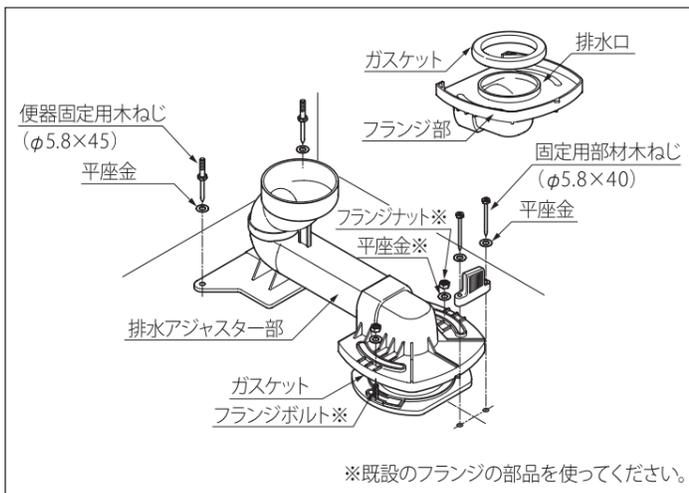
(1) フランジ部の排水口にガスケットを付け、既存フランジにワッシャーとフランジナットで固定します。 **注意6参照**

(2) 排水アジャスター部を平座金と便器固定用木ねじで固定します。

●床がタイルまたはコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。

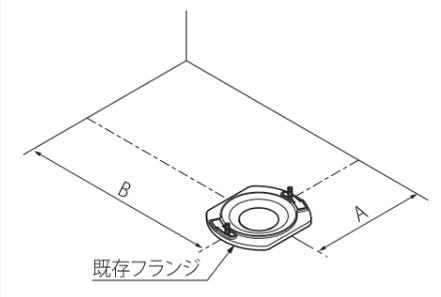
(3) 固定用部材を罫書いた位置に合わせ、平座金と固定用部材木ねじで固定します。

●床がタイルまたはコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。



施工前に

●既存フランジの芯でAおよびB寸法を墨出ししてください。



注意3

●切断はアジャスター部に対して垂直に行ってください。

※斜めに切断すると、漏水、臭気発生の原因になります。

●切断後、アジャスター部にバリ等が残らないようにしてください。

※漏水する恐れがあります。

●切断後、アジャスター部とフランジ部を、再度差し込んでアジャスター部の長さを確認してください。また、このときアジャスター部に差込位置をマークし、接着時の参考にしてください。

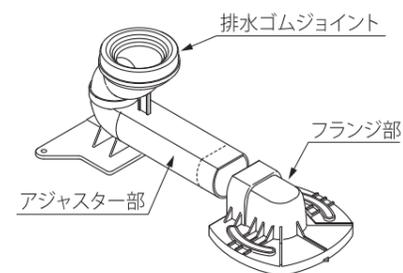
※差込みが不十分ですと便器の取付位置がずれ、施工不良の原因になります。

注意4

アジャスター部の切断・接着を間違えた場合には、以下の品番で手配してください。

品番 MESC87-01

(アジャスター部、フランジ部、排水ゴムジョイント)



注意5

アジャスター部とフランジ部の接着は確実に行ってください。フランジ部排水口側から見てアジャスターが奥までピッタリ差し込まれていることを確認してください。

※接着には市販の塩ビ接着剤を使用してください。

※接着が不十分ですと漏水、臭気発生の原因になります。

注意6

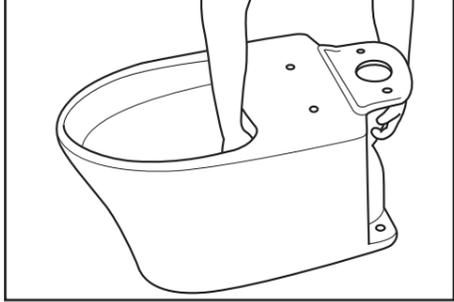
●排水アジャスター部を床へ固定する際には、床面の傾きや不陸にご注意ください。

※排水アジャスター部を逆勾配で設置すると、洗浄不良や詰まりの原因になります。

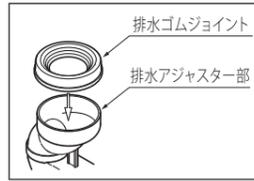
●フランジナットで固定の際は、締め過ぎないようにしてください。

※フランジが破損し漏水の恐れがあります。

便器の持ち方

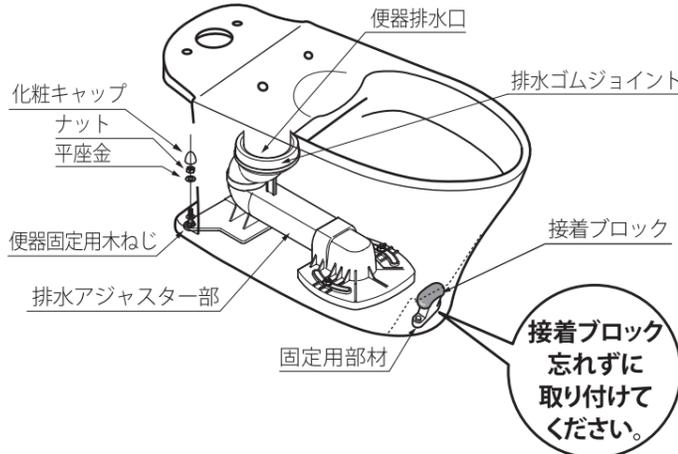


- 便器は陶器製で約35kgです。
- 左図のように持ってください。
(滑り止めのついた手袋を着用してください)



6 便器の固定

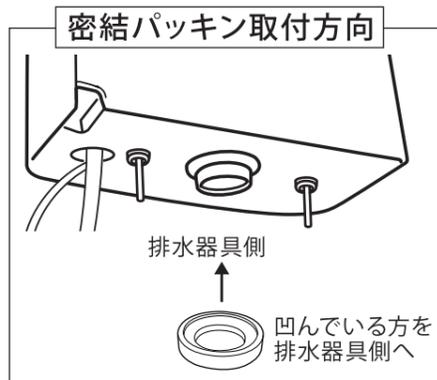
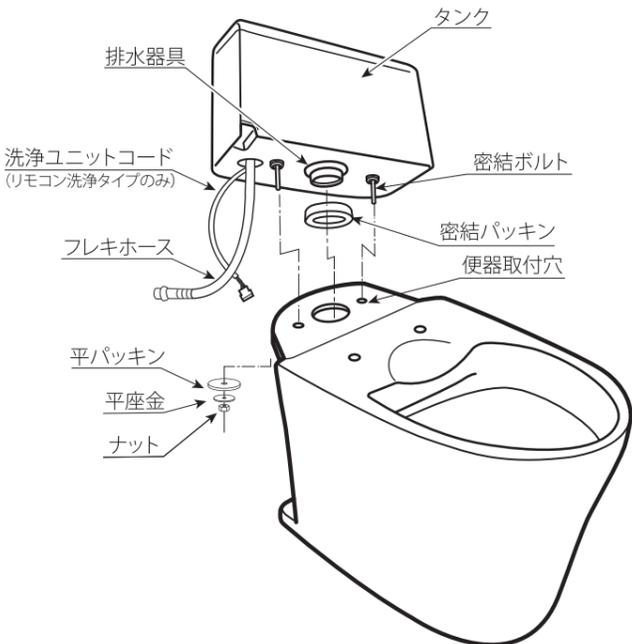
- (1) 排水ゴムジョイントを、排水アジャスター部にかぶせしっかり押し込みながら取付けします。 **注意7参照**
- (2) 固定用部材の上に**接着ブロック**を乗せます。
- (3) 便器の排水口を排水アジャスター部の排水ゴムジョイント部に差込みます。
- (4) 平座金を介し、ナットで便器を固定します。
このとき、便器固定用木ねじが、中心になるようにしてください。
- (5) 固定後、化粧キャップを取付けます。



**接着ブロック
忘れずに
取り付けて
ください。**

7 ロータンクの取付け

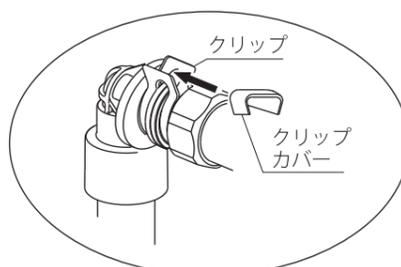
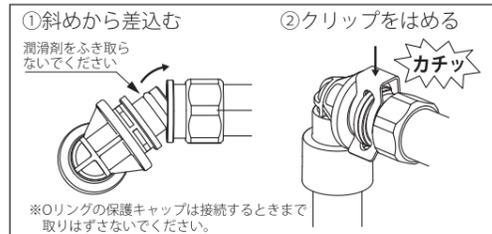
- (1) 密結パッキンを排水器具にはめます。
- (2) 密結ボルトを便器取付け穴に差込みます。このとき、密結パッキンがずれたり、はずれたりしないように行ってください。
- (3) 便器下方から平パッキン平座金を介してナットで締付けます。 **注意8参照**



8 フレキホースと止水栓の接続

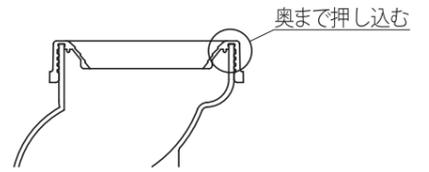
- (1) ロータンク内側底面の取出し穴の上方から、フレキホース（ナット側）を通します。
- (2) ボールタップ接続側の養生キャップを外し、ボールタップに差込みます。
- (3) 付属のクリップでフレキホースとボールタップを固定します。
【ワンポイント】
クリップカバーの差込口が上方になるようにしておくこと、クリップカバーが差込み易くなります。
- (4) クリップにクリップカバーを差込みます。 **注意9参照**

フレキホース接続時の注意



注意7

- 排水ゴムジョイントはしっかり奥まで押し込んでください。
※隙間があると洗浄不良や漏水の原因となります。



- 便器の完全固定は、便器底面と床面のガタおよび施工芯を確認しながら行ってください。
- 陶器に対するねじは、締め過ぎないようにしてください。
※陶器が割れる恐れがあります。

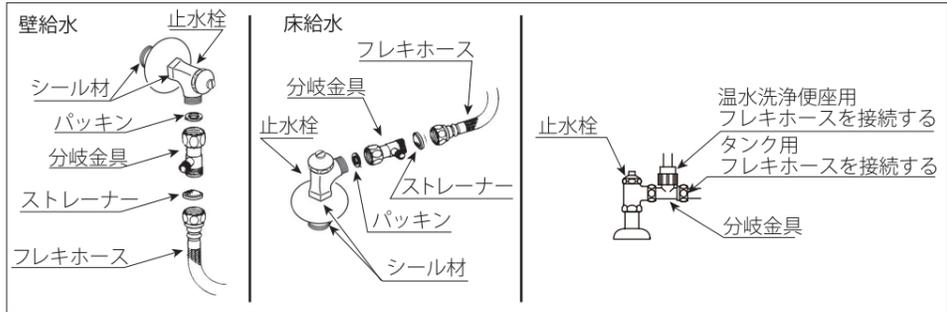
注意8

- ナットの締付けは左右交互に行い、タンクの底面が便器に当るまで締めてください。
※片締めは破損や漏水の原因となります。
- ナットの締付けの際にフレキホースや洗浄ユニットコードをはさまないように気をつけてください。
※動作不具合の原因となります。

注意9

- フレキホースをボールタップへ差込む時に、Oリングを傷めないようにしてください。
※傷めると漏水の原因となります。
- クリップ、クリップカバー、ストレーナーは紛失しないようにしてください。
- クリップが正しく付いたかを確認するため、クリップカバーは必ず取付けてください。

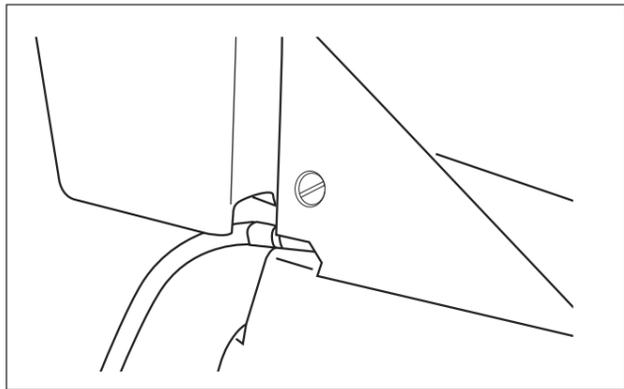
- (5) 給水管取出し口に止水栓を取付けます。
注意10参照
- (6) パッキンを介して、止水栓に分岐金具を接続します。
- (7) ロータンクから取出したフレキホースをストレーナーを介して、止水栓または分岐金具に接続します。



※パッキンと分岐金具は温水洗浄便座の同梱部品です。

9 便座の取付け

- 便座の施工説明書に従って取付けしてください。
- 温水洗浄便座 (JCS-95型 リモコン洗浄タイプ) を取付ける場合はロータンク前面の開口部奥へ便座用電源コード、アース線、給水ホース、洗浄ユニットコードを通して便器裏側へ収めてください。**注意11参照**



10 調整方法

- 器具は、出荷時および施工時に調整してありますが、お客様の好みに合わせて水量を調整してください。

■給水量の調整

- 万一、ボールタップの故障で水が止まらない場合でも、タンクから水があふれないようにするために、次の要領で調整を行ってください。

- (1) 止水栓を閉じ、タンクのふたを外します。
- (2) 浮玉を押し下げながら、止水栓を徐々に開きます。
- (3) この状態で、水面がオーバーフロー管の上端より10mm以上上昇しない程度に止水栓の開きを調整します。

■水位の調整

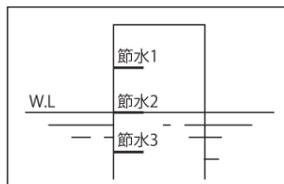
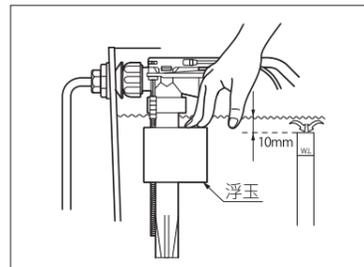
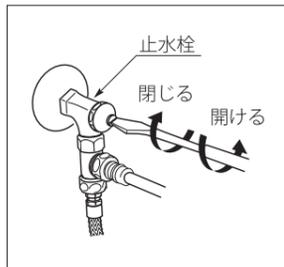
- 給水量を調整した後、タンクに給水し、止水位置がオーバーフロー管に表示されている「節水1~3」のラインに合うように、浮玉を上下させて調整してください。

※出荷時の水位は節水2に設定してあります。

【浮玉の移動方法】

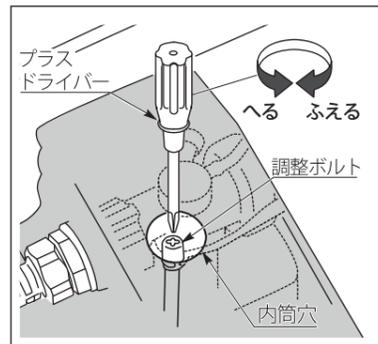
調整ボルトを右に回すと水位が上がり、左に回すと水位が下がります。

※内筒穴からプラスドライバーで調整してください。



●水量の目安
(水圧0.2MPaの時)

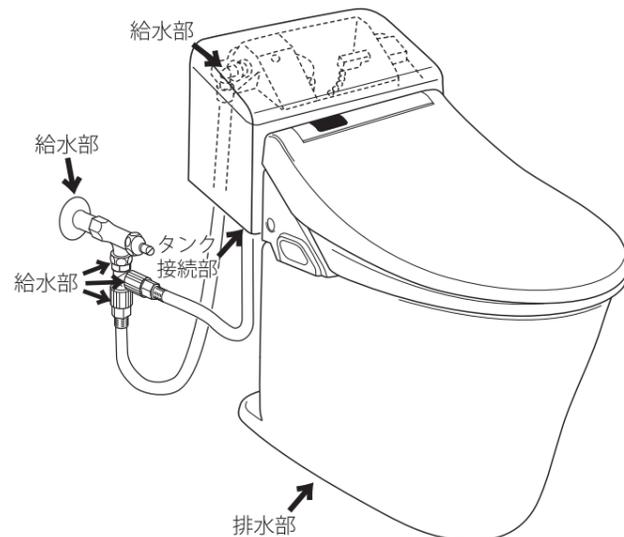
節水	大洗浄	小洗浄
節水1	→ 約8.0L	約7.0L
節水2	→ 約6.0L	約5.0L
節水3	→ 約4.8L	約4.0L



11 確認と点検

- タンクに給水されたことを確認してください。
- 洗浄ハンドルを操作して数回洗浄し、各接続部に漏水が無いことを確認してください。**注意12参照**
- 便器鉢内に長さ約760mmのトイレットペーパーを丸めたものを7個入れ、1回の洗浄ですべて排出することを確認してください。
- 排出されない場合は必ず水位調整してください。調整方法は**10**を参照してください。

節水型便器の床下横引き排水管において、勾配1/100、75A、2曲りの排水管 (BL基準) で10m以上の搬送性能が確保されていることを確認しています。排水管長さが10mを超える場合でも停滞した汚物は次の洗浄で順次押し流されていくことを確認しています。



注意10

- 止水栓のネジ部には、シールテープ等を巻いてください。
- ストレーナーは必ず取付けてください。
- フレキホースのナットは締め過ぎないようにしてください。
- ※異物が入ると、作動不良や故障の原因になります。
- フレキホースはねじれを生じないように接続してください。
- ※給水不良・漏水の原因になります。

注意11

- 便座用電源コード、アース線、給水ホース、洗浄ユニットコードをはさまないようにしてください。

注意12

- 排水接続部の水漏れは、数回流さないと確認できない場合があります。

注意13

- 止水栓を動かした場合は、必ず給水量の調整をして下さい。